

## おこり地蔵

松山市



おこり地蔵



原爆死没者慰霊碑

松山大学の御幸キャンパスの裏手、ロシア人墓地から少し上ったところに龍仙院がある。ここに、『絵本おこりじぞう』のモデルになったお地蔵さんが安置されている。龍仙院の説明には、次のように記されている。

「広島で原爆の被害にあい、焼け跡で粗末になっていたお地蔵さんを住職の義母（西原ミサヲ）が全部で7体自宅（広島市千田町）へ持ち帰り玄関先にまつていました。おこり地蔵はその中の一体です。義母は『首なしではかわいそうじゃ』と言って新しく頭をつけてもらいましたが、それが怒っているように見えたところからおこり地蔵と呼ぶようになりました。昭和45（1970）年、当院へ身を寄せた際、他のお地蔵さんと一緒におこり地蔵を運び安置しました」。

昭和20（1945）年の原爆投下から、既に70年近くが経過している。被爆者の方々が高齢化し、原爆の記憶が薄れていくなかで、原爆の惨禍を後世に伝えようと多くの人々が活動している。被爆者の体験と平和への思いを決して風化させることなく継承し、次代に引き継いでいかなければならない。

なお、伊予鉄道横河原線石手川公園駅のすぐ近くには、広島・長崎の原爆の犠牲となられた愛媛県関係者の御霊を慰めるために建てられた原爆死没者慰霊碑があり、毎年、8月6日と9日に慰霊祭がとり行われている。

〔参考資料〕

山口勇子／外 『絵本おこりじぞう』